＜様式1＞

平成 29年 08月 31日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	O's Wood House
グループの名称	O's Wood Project
直近採択グループ番号	04-0606-0749

（グループ代表者）

代表者名	大塚　敦子　代表者印
代表者所属先	株式会社大塚木材
代表者所在地	大分県大分市南生石東7組
代表者電話番号	09-7535-0522

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社大塚木材
事務局担当者名	高崎　博明　印
事務局郵便番号	870-0010
事務局所在地	大分県大分市南生石東7組
事務局電話番号	09-7535-0522
事務局FAX	09-7537-3224
事務局担当者E-mail	ootsuka-mokuzai@sage.ocn.ne.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	O's Wood House
２．グループの名称(必須)	O's Wood Project
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0606-0749
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	大分県全域及び隣接他県
５．結成年(必須)	2015　年
６．グループ代表者名(必須)	大塚　敦子
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社大塚木材
８．グループ代表者所在地(必須)	大分県大分市南生石東7組
９．グループ代表者電話番号(必須)	09-7535-0522
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社大塚木材
１１．グループ事務局担当者名(必須)	高崎　博明
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	870-0010
１３．グループ事務局所在地(必須)	大分県大分市南生石東7組
１４．グループ事務局電話番号(必須)	09-7535-0522
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	09-7537-3224
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	ootsuka-mokuzai@sage.ocn.ne.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	12	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	18	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	3	
Ⅳ．プレカット	2	
Ⅴ．設計	5	
Ⅵ．施工	5	
Ⅶ．木材を扱わない流通	1	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	全国		3	国内
	□　合法木材証明制度を利用する	国外		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国外		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FIPC認証制度を利用する	全国		2	国内
	九州材	九州各県	合法木材証明制度	0	国内

B．平成２９年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型（長期優良住宅） **経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	長寿命型（長期優良住宅） **未経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型 （認定低炭素住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型 （性能向上計画認定住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **経験**工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	申請が確実（上限150万円）		3	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限150万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **未経験**工務店（4戸（8戸）未満）による申請戸数	申請が確実（上限165万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限165万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸

C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0	棟
			0	㎡
		申請が未確定	0	棟
			0	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	基本的に未経験工務店を優先して配分するが受注活動を含むPRの結果、受注不可と判断した際はグループで受注を優先して配分していく。

E. 平成２８年度の執行状況（必須）

長寿命型（長期優良住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（認定低炭素住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）

当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）

当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

優良建築物型

当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
当初予算	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
34	Ⅰ － 1	ひろしま木材事業協同組合		737-0134	広島県呉市広多賀谷３－１－１	0823-71-7141
41	Ⅰ － 2	株式会社伊万里木材市場		849-4252	佐賀県伊万里市山代町楠久津145番地30	0955-20-2183
45	Ⅰ － 4	株式会社佐藤木材		882-0401	宮崎県西臼杵郡日之影町七折8617番地7	0982-87-2539
45	Ⅰ － 5	木脇産業株式会社		885-1105	宮崎県都城市丸谷町458	0986-36-0533
43	Ⅰ － 6	阿蘇森林組合		869-2224	熊本県阿蘇市蔵原885番地の1	0967-34-0335
43	Ⅰ － 7	熊本県森林組合連合会		861-8019	熊本県熊本市東区下南部2丁目1-55	096-285-8688
43	Ⅰ － 8	熊本木材株式会社		861-8012	熊本県熊本市東区平山町3052	096-389-1111
43	Ⅰ － 9	株式会社人吉素材流通センター		868-0095	熊本県球磨郡相良村柳瀬字大谷3451-18	0966-24-8845
45	Ⅰ － 10	都城地区製材業協同組合		885-1103	宮崎県都城市上水流町2878番地	0986-36-3010
44	Ⅰ － 11	日田市森林組合		877-0076	大分県日田市大字庄手850番地の5	0973-23-5168
42	Ⅰ － 12	長崎南部森林組合		856-0804	長崎県大村市大川田町990番地1	0957-55-6610
44	Ⅰ － 13	株式会社ナンブ木材流通		877-1371	大分県日田市大字東有田2882番地の10	0973-22-4054
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
45	Ⅱ － 4	株式会社佐藤木材		882-0401	宮崎県西臼杵郡日之影町七折8617番地7	0982-87-2539
45	Ⅱ － 5	木脇産業株式会社		885-1105	宮崎県都城市丸谷町458	0986-36-0533
43	Ⅱ － 6	阿蘇森林組合		869-2224	熊本県阿蘇市蔵原885番地の1	0967-34-0335
42	Ⅱ － 12	長崎南部森林組合		856-0804	長崎県大村市大川田町990番地1	0957-55-6610
35	Ⅱ － 18	株式会社マルホ		740-0003	山口県岩国市飯田町一丁目3－37	0827-21-8191
34	Ⅱ － 19	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3－1－1	0823-71-7141
41	Ⅱ － 20	西九州木材事業協同組合		849-4252	佐賀県伊万里市山代町楠久津145番地36	0955-20-2010
34	Ⅱ － 21	谷本木材株式会社		738-0022	広島県廿日市市木材港南8番94号	0829-32-7777
45	Ⅱ － 22	株式会社もくみ		882-0301	宮崎県西臼杵郡日之影町七折410番地6	0982-88-1885
43	Ⅱ － 23	株式会社くまもと製材		868-0442	熊本県球磨郡あさぎり町深田東字馬場19番地1	0966-43-1655
33	Ⅱ － 24	銘建工業株式会社		717-0013	岡山県真庭市勝山1209	0867-44-2695
43	Ⅱ － 25	合資会社立山製材所		861-0535	熊本県山鹿市南島937番地	0968-43-2333
43	Ⅱ － 26	有限会社的石製材所		868-0024	熊本県人吉市鶴田町885	0966-22-5428
45	Ⅱ － 27	都城木材株式会社		885-0006	宮崎県都城市吉尾町758-1番地	0986-38-1500
45	Ⅱ － 28	堀正製材・建設		889-1912	宮崎県北諸県郡三股町宮村2930－6	0986-52-0568
44	Ⅱ － 29	株式会社小田製材所		877-0082	大分県日田市日ノ出町131	0973-23-8195
44	Ⅱ － 30	江田製材所		877-0076	大分県日田市大字庄手858	0973-22-4358
45	Ⅱ － 31	高千穂林業有限会社		885-0034	宮崎県都城市菖蒲原町19－1－5	0986-23-0365
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
42	Ⅲ － 14	佐世保木材協同組合		857-1171	長崎県佐世保市沖新町2-18	0956-56-8877
44	Ⅲ － 15	株式会社大塚木材		870-0010	大分県大分市南生石東7組	097-535-0522
43	Ⅲ － 16	原田木材株式会社		861-8012	熊本県熊本市東区平山町2985-1	096-380-7531
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
42	Ⅳ － 14	佐世保木材協同組合		857-1171	長崎県佐世保市沖新町2-18	0956-56-8877
40	Ⅳ － 17	原田木材株式会社福岡事業部		812-0051	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭4丁目3－2	092-631-5621
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ⅴ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅴ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅴ．設計							○	○
44	Ⅴ － 33	株式会社HACOYA DESIGN		879-7763	大分県大分市下戸次5395番地	097-576-9858	○	
44	Ⅴ － 34	有限会社田村建築		879-8413	大分県由布市庄内町大龍2411の2番地	097-582-1881	○	
44	Ⅴ － 36	青山住研1級建築士事務所		870-1136	大分県大分市光吉1456－60	097-568-3735		○
44	Ⅴ － 37	LINKsRING株式会社		870-0143	大分県大分市三川上4丁目4番32号	097-551-3111	○	
44	Ⅴ － 40	法友建設株式会社一級建築士事務所		870-0109	大分県大分市徳島1丁目3185番地の2	097-523-5927	○	
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							5	○	○
44	Ⅵ － 32	50954	株式会社 ZERO STYLE ARCHITECT		870-0961	大分県大分市下郡山の手14番15号	097-567-5343	○	
44	Ⅵ － 34	51019	有限会社田村建築		879-8413	大分県由布市庄内町大龍2411の2番地	097-582-1881	○	
44	Ⅵ － 35	50950	園田建設		870-0821	大分県大分市大字三芳2238番地	097-544-2260	○	
44	Ⅵ － 37		LINKsRING株式会社		870-0143	大分県大分市三川上4丁目4番32号	097-551-3111	○	
44	Ⅵ － 39	50977	法友建設株式会社		870-0109	大分県大分市徳島1丁目3185番地の2	097-523-5927	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成28年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	○	○			
44	Ⅵ － 32	50954	株式会社 ZERO STYLE ARCHITECT	9 戸	7 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡		○		○	○
44	Ⅵ － 34	51019	有限会社田村建築	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡		○			
44	Ⅵ － 35	50950	園田建設	9 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
44	Ⅵ － 37		LINKsRING株式会社	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
44	Ⅵ － 39	50977	法友建設株式会社	5 戸	6 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡				○	
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅶ. 木材を扱わない流通

<様式 2-2・Ⅶ>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
13	Ⅶ － 38	ジャパン建材株式会社		136-8405	東京都江東区新木場1丁目7－22	03-5534-3711
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）O's Wood House	（地域型住宅供給対象地域）大分県全域及び隣接他県
２．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）O's Wood Project	（結成年）2015 年
３．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0606-0749	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	九州の温暖な気候で育った杉、桧はブランド材も多く直材であり構造材に適しており材質は比較的強固である。 また樹脂も多く粘り強いため、折れにくい。このようなことから構造材に九州材の利用を推進する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	構造材で良質な木材を使って実現する強構造、材質を活かした温かさ、柔らかさを提供する家づくり。 環境に配慮し次世代に引き継いでいける家。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	大分県は温暖な南部・中部、寒冷な北部・西部と地域性があることから夏の暑さ、冬の寒さに配慮したデザイン。 各地域の風土に応じた歴史的町並みも合う流行に左右されない長く使えるデザイン。	◎
④ ①～③の背景	長く愛着をもって次世代へ引き継いでいける家を前提とし、安心・安全・温もりを感じる家づくり。 各地域に順応した家づくり。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	九州材の積極的な使用を促し、木材の地産地消を推進することによって地域気候風土に合った家づくり。	◎

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 土台は桧、柱は杉の乾燥材、通柱は杉乾燥材120mm以上を使用。	◎
	①-2 使用建材の統一	■ 行っていない	□ 行っている→	内容:	
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 構造材に関しては合法木材とし、断熱等性能等級4とする。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 主要構造材の土台・柱はグループ内において規格化されている部分の集中購入をしてコストダウンを図る。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 事務局が集中管理をして施工店に受注物件の有無を確認する。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容: 委員会は設置していないが定期的に研修会を実施、共通ルール・施工技術の確認を行なう。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容: 定期的な研修会の実施。メーカー・問屋と連携し基準に合った新商品のPR。	◎
b.	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容: メーカー・問屋と連携を図り、全国展開のサポート機関を利用し、施工基準を全国標準レベル以上になるよう努力する。	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容: 長期優良住宅・省エネ型住宅の申請時もグループ内設計士による確認。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容: グループ内の施工店が見積り作成ルールを作り、標準化する。サポート体制として納入する販売店の一本化を図る。	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容: 完成見学会等のイベント時にグループのブースを設置し、施主に対して相談・説明のPR活動。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		原木供給業者から製材業者までを充実させることにより、時期的な価格の高騰、相場の変動に対応し、適正な価格の維持に努める。			◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）O's Wood House	（地域型住宅供給対象地域）大分県全域及び隣接他県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）O's Wood Project	（結成年）2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0606-0749	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない ■ ある → 内容： 新築時の設計図書、打合せ記録等の保管管理。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	□ ない ■ ある → 内容： 国土交通省『登録住宅履歴情報蓄積システム』登録機関による履歴情報の管理。	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない ■ ある → 内容： 情報管理システムの住宅履歴情報での確認。	◎
	② メンテナンス基準の整備		
	②-1 点検の共通ルール	□ ない ■ ある → 内容： 点検時に使用するグループ共通のチェックシートを作成、記録はグループ内で共有する。	◎
	②-2 補修の共通ルール	□ ない ■ ある → 内容： 補修に関しては住宅履歴に蓄積し、いつでも確認できるようにする。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない ■ ある → 内容： 『住宅管理履歴』からの指定点検時期を基準とする。	○
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない ■ ある → 内容： グループ構成各社のイベントでの相談会・体験会の実施。	○
	③-2 DIY体験会等の実施	■ ない □ ある → 内容：	
	③-3 その他の相談会等の実施	□ ない ■ ある → 内容： 上記のイベント内において施主のアフターケアを目的とするアンケート方式のチェックシートの実施。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	□ ない ■ ある → 内容： グループ内で任期制をとり、担当構成員による2ヶ月に一度の維持管理委員会の設置。	◎
	⑤ その他の維持管理の手法	■ ない □ ある → 内容：	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない ■ ある → 内容： 不測の事態が生じた場合、請負契約書・設計図書一式を事務局に提出の上グループ構成員で完成を保証する。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない ■ ある → 内容： 瑕疵が起きた場合、委員会が内容と対策をグループ内に発信し改善を促す。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		定期メンテナンス実施書類の写しを事務局に提出し、実施状況を把握する。またグループ共通の維持保全計画書を作成、活用することで点検漏れの無いようにする。	○

エ．グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない ■ ある → 内容： グループ内の経験施工店・経験設計士による情報の共有。外部講師による施工技術研修会の実施。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	□ ない ■ ある → 内容： 大前提にある九州材の地産地消の為に原木からプレカット業者までの流通の固定化	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない ■ ある → 内容： 合法木材証明制度の活用	◎
	③-1 需給計画の策定	□ ない ■ ある → 内容： 事務局と施工店が話し合い、年度ごとに目標を設定する。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	□ ない ■ ある → 内容： グループ内施工店同士の構造見学会等を実施し、断熱材や気密の施工方法を共有し、他の施工店との差別化を図り、ローコスト・ハイグレード住宅の実現に努力する。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない ■ ある → 内容： 断熱材や気密材を一本化する一方で、施工技術者への省施工・新商材の研修会の実施。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 4　今年度の参加目標人数 5	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 5　今年度の参加目標人数 5	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない ■ ある → 内容： 事務局による講習会日程の告知、代表者のみではなく図面に携わる全ての人員に参加を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入	□ ない ■ ある → 内容： メーカー・問屋主催の新商品展示会への積極的な参加とグループ構成員内での情報の共有。	◎
	② 新たな技術等の開発	□ ない ■ ある → 内容： 採用可能な新商品は積極的に導入し、採用業者はグループ内への導入検証結果の報告義務化。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		事務局を中心に国が主導する補助制度を率先して利用できるよう解説セミナーや告知を行い、活用を促進し趣旨理解を促し知識や技術を習得する。新しい制度・仕組みも積極的に取り入れる。	◎

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）O's Wood House	（地域型住宅供給対象地域）大分県全域及び隣接他県
2．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）O's Wood Project	（結成年）2015 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0606-0749	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	大分・熊本・宮崎・佐賀・長崎の原木供給から製材までを合法木材認定を受けたグループ構成員より供給されたものを基本に強度・使用部位に応じて海外産の合法木材の使用も地域材として認定する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位 (必須)	主要構造材 土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材 枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材 壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	北部九州を中心に林業が盛んな地域から上質な木材を原木・素材の段階から取り扱い、熟練した製材所によって製品化されたものを運輸して高精度のプレカット加工、さらに建築現場までの運輸といった一連の流れを一般化し、携わる業者を増やすことによって地域の活性化を図る。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：グループ内の原木供給・製材業者が充実している為、各県の相場・市況を事務局が把握し施工店へ案内する。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：上記と同様にグループ構成員が各県にいることで価格の偏りを無くし安定供給を実現する。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：構造材1棟当り15㎥～20㎥として過半以上、さらに羽柄材にて使用。	○
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数(1畳換算)　60枚	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数　120坪	○
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：壁・天井等の内装仕上材を漆喰・木質にする。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：上記を使用することで日本伝統の技術の衰退を防ぎ、シックハウス対策にも充当させる。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：大分には江戸時代に幕末直轄の天領日田があり古い町並みを参考にし、現代の省エネ要素をプラスする。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：日田・玖珠といった林業の盛んな地域より木材の長所・短所を学び、家との付き合い方を施主にレクチャーする。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：周囲の景観を損なわないように配慮した色使い、建物の形状を施主に対して提案する。	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：昔ながらの内装仕上材を積極的に取り入れ衰退しつつある業種の活性化を図り「健康とエコ」を推進する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		地域イベントへの積極的な参加。住宅建設時に出る廃材や間伐材等で木のおもちゃを製作し子供たちに木材に親しんでもらう機会を提供する。	○

カ. その他

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	東北地方の特産品・伝統工芸品等をインテリアの部分で提案する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	我々も大分で被災した構成員もいる中で、熊本・大分の復興において被災地域の木材・資材を使い良質な住宅を供給することで微力ながら復興の一端とする。	◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） O's Wood House	（地域型住宅供給対象地域） 大分県全域及び隣接他県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） O's Wood Project	（結成年） 2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0606-0749	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

当グループは施工業者　5社に対して原木供給　12社、また製材業者　18社とサポート体制を充実させることにより安心・安全な木材の安定供給を可能にするとともに、
北部九州各県にグループ構成員を配置することにより木材の不測の事態にも対応できるようにする。
さらに近年主流であるLDKのあるスパンが飛ぶ間取りに対応する為に5M・6Mは集成材大断面を奨励し、集成材に関しては日本集成材工業協同組合の
組合員のものとする。また外国材使用であっても原木輸入と製材を一社で製造ラインが整ったもの、合法木材であるものを使用することによって国産材でなくても
安心・安全な木材の使用を実現する。これをグループ内で補うことによって地域的特色のある強構造を可能にする。
なお高度省エネについてはパッシブハウスの考え方を基本とし、自然の光・風を活かせるように軒先を低く長く出す等の自然を利用しランニングコストの軽減を図る。
断熱先進国であるヨーロッパ諸国の住宅建築を積極的に取り入れる。グループの活動・取組みを広くPRする為に地域材使用の分かるポスター等を建築現場に
提示して地域材利用促進に努める。
なお、認定低炭素住宅に関して
①1次エネルギー消費量を10%以下に削減すること。
②木造住宅であること
③節水機器を設置し、利用すること。
ゼロ・エネルギー住宅
①太陽光発電を除くエネルギー削減率を21．0%以上とする。
②全体のエネルギー削減率を115．0%以上とする。
③外皮平均熱貫流率を0．6とする。
④BELS認証の取得。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。